



つなごう。驚きを。幸せを。



トピックス

2025年4月4日

株式会社 One Bright KOBE

NTT 都市開発株式会社

株式会社スマートバリュー

株式会社 NTT ドコモ

「GLION ARENA KOBE」2025年4月4日開業

**～ 阪神・淡路大震災から30年の節目に誕生するアリーナを基点に
神戸ウォーターフロントに新たなにぎわいづくりを～**

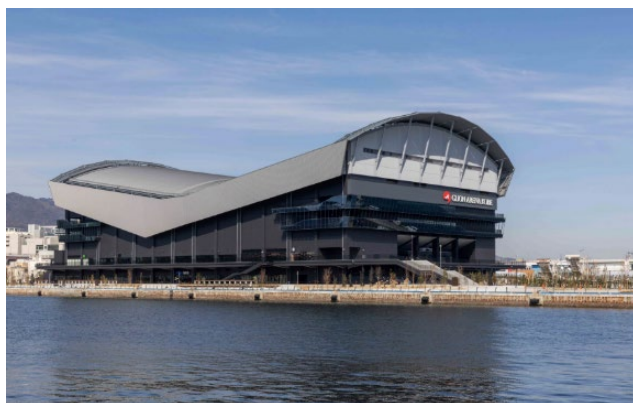
「神戸アリーナプロジェクト」の運営会社である株式会社 One Bright KOBE（以下、One Bright KOBE）と、「神戸アリーナプロジェクト」の企業コンソーシアムである NTT 都市開発株式会社（以下、NTT 都市開発）、株式会社 スマートバリュー（以下、スマートバリュー）、株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、2025年4月4日、神戸ウォーターフロントに「GLION ARENA KOBE（ジーライオンアリーナ神戸）」を開業しましたことをお知らせします。

「神戸アリーナプロジェクト」は、神戸市が公募した神戸ウォーターフロント再開発事業において、2021年に優先交渉権を獲得した NTT 都市開発が開発を担い、スマートバリューとドコモが運営を担う、民設民営アリーナプロジェクトです。

また、NTT 都市開発は2025年3月にディベロップメントパートナー契約を締結し、従来の開発・運営という立場にとどまらず、共にアリーナを基点とした新たな価値協創に取り組んでいくことを発表^{※1}しました。

■「GLION ARENA KOBE」とは

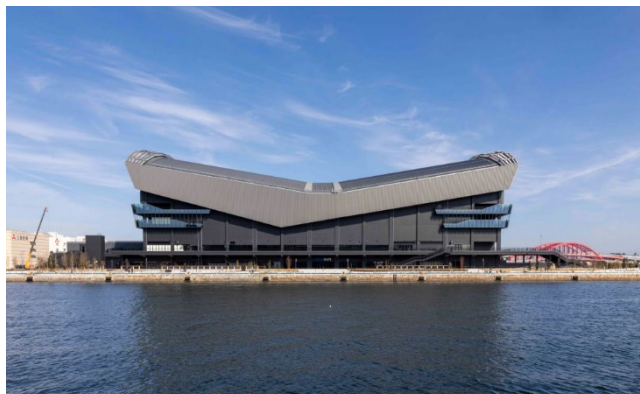
1万人収容の多目的アリーナで、兵庫県唯一のプロバスケットボールクラブ B.LEAGUE「神戸ストークス」のホームゲームをはじめ、プロスポーツイベントや音楽コンサート、MICE など、さまざまなイベントの開催を予定しています。神戸ならではのこだわりが詰まった VIP フロアでは新たな観戦体験を提供するほか、ウォーターフロントの開放感をお楽しみいただける飲食店やショップなど複数店舗^{※2}が同時にオープンします。アリーナ南側の「TOTTEI PARK（トッテイパーク）」とあわせて、神戸のシビックプライドにつながるランドマーク創出に取り組めます。



■「神戸アリーナプロジェクト」のコンセプト

阪神・淡路大震災から 30 年の節目に開業にあたり、「この世界の心拍数を、上げていく。」を存在意義に、スポーツとエンターテインメント・デジタルの融合による、新たな驚きと感動を生み出す「次世代に誇れる新たなランドマークエリア」の創出をめざします。また、スマートバリューと神戸市が締結した「都心・ウォーターフロントエリアの未来づくり」に向けた事業連携協定^{※3}に基づき、アリーナを基点にした新たなまちづくり（地域活性化）と社会課題解決に取り組んでまいります。

One Bright KOBE では、TOTTEI や神戸の体験をさらに充実させるエンタメアプリ「TOTTEI KOBE 公式アプリ」の提供を開始^{※4} し、おトクなクーポン提供やスタンプラリーなどで来場前からお楽しみいただける機能で、アリーナ基点での回遊性向上を推進します。



アリーナ内は馬蹄型に座席をレイアウトしています。常設として関西最大級を誇る LED ビジョンを搭載し音響スピーカーにもこだわるなど、一体感ある演出でどの席からも臨場感ある観戦体験をお楽しみいただけます。



■アリーナイベントについて

4 月 4 日（金）のこけら落としとして One Bright KOBE 自主企画イベント、「神戸に住む人と・神戸を好きな人と お祝いする『Opening Night Party』」の開催^{※5}を皮切りに、開業 1 か月間をアリーナの誕生をお祝いするオープニング月間～Turning point 30～としてさまざまなエンタメステージを提供予定です。

■新アリーナでのこけら落とし試合を開催！B.LEAGUE「神戸ストークス」ホームゲーム

4月5日（土）・6日（日）にこけら試合を開催し、4月20日（日）・21日（月）は、2024-25シーズン最後の試合を開催します。試合初日の4月5日（土）は、2021年「日本レコード大賞」を受賞し、2024年「NHK紅白歌合戦」に初出場した「Da-iCE」の大野雄大さんがスペシャルゲストとして登場し、国歌独唱を披露予定です。

また、こけら試合 2DAYS を記念して、まちなかが STORKS GREEN で彩られます。

「神戸アリーナプロジェクト」の発足のきっかけとなった「神戸ストークス」の白熱した戦いをぜひ会場でご体感ください。

「神戸ストークス」の試合スケジュール詳細はこちら。

<https://www.storks.jp/schedule/?scheduleMonth=4>



「TOTTEI」に関する最新情報は、公式アプリ、公式 SNS、公式サイトにてお届けします。

- ・公式アプリ : https://www.totteikobe.jp/about_app
- ・公式 X : https://x.com/tottei_official
- ・公式 Instagram : https://www.instagram.com/tottei_official/
- ・公式サイト : <https://www.totteikobe.jp/>

※1 発表の詳細はこちら。(<https://www.nttud.co.jp/news/detail/id/n26858.html>)

※2 店舗の詳細はこちら。(https://www.totteikobe.jp/food_shop)

※3 連携協定の詳細はこちら (<https://www.smartvalue.ad.jp/news/5643/>)

※4「TOTTEI KOBE 公式アプリ」の詳細はこちら (<https://www.totteikobe.jp/news/article/6503>)

※5「Opening Night Party」の詳細はこちら (<https://www.totteikobe.jp/news/article/4743>)

■神戸アリーナプロジェクトの経緯

2021 年 3 月	神戸市による事業者公募により NTT 都市開発・スマートバリュー・NTT ドコモからなるコンソーシアムが優先交渉権者に選定
2022 年 8 月	神戸市とスマートバリューが「都心・ウォーターフロントエリアの未来づくり」に向けた事業連携協定を締結
2022 年 12 月	「神戸アリーナプロジェクト」の本格始動を発表
2023 年 4 月	アリーナ新築工事 着工
2023 年 7 月	B.LEAGUE 本拠地移転に伴い、新チーム名「神戸ストークス」発表
2023 年 9 月	大規模アリーナ施設（収容人数 1 万人）で国内初「ZEB Ready」認証取得
2024 年 2 月	アリーナ名称を「GLION ARENA KOBE」に決定、 株式会社ジーライオンとトップパートナー契約締結を共同発表 One Bright KOBE が国内初「港湾環境整備計画（みなと緑地 PPP）」の 認定を受け、アリーナとの一体運営を発表
2024 年 3 月	株式会社ミックウエアが北側エントランスゲート命名権の取得を発表
2024 年 4 月	開業 1 年前を記念し、新港第二突堤エリア愛称「TOTTEI」を発表 VIP エリア名称「KOBE 270°Club sponsored by ANA」を発表
2024 年 6 月	TOTTEI PARK 新築工事 着工
2025 年 3 月 1 日	GLION ARENA KOBE 竣工
2025 年 4 月 4 日	GLION ARENA KOBE および TOTTEI PARK 開業 ※TOTTEI PARK 内「緑の丘」は 2025 年 4 月 25 日 竣工予定



■ARENA PARTNER

神戸アリーナプロジェクトは、今後 50 年の長期にわたり、地域に根差した運営を予定します。持続可能な社会の実現に向け、様々な企業・団体の皆様と共に、神戸の新たな魅力づくり（スマートシティ）の実現へと進めて参ります。

本プロジェクトにご賛同いただける企業・団体の皆様やアリーナの各種ネーミングライツパートナーを募集中です。

ご興味のある方は [<お問合せフォーム>](#) からご連絡ください。

PARTNERS →

OFFICIAL TOP PARTNER



OFFICIAL GOLD PARTNER



オフィシャルゴールドパートナー



オフィシャルゴールドパートナー

OFFICIAL PARTNER



DXパートナーシップ（データ活用）



コンテンツ・BCP・サステナビリティ
パートナー



コンテンツパートナー



オフィシャルパートナー



オフィシャルパートナー



オフィシャルパートナー



トーカロ株式会社

オフィシャルパートナー



オフィシャルパートナー



オフィシャルパートナー



オフィシャルパートナー



データソリューションパートナー



オフィシャルパートナー



創業に、革新的に

デベロップメントパートナー



製造から、製造を促す。

オフィシャルパートナー

FIRST PARTNER



賃貸経営ノース株式会社



■「GLION ARENA KOBE」計画概要

事業名称	新港突堤西地区（第 2 突堤）再開発事業
所在地	神戸市中央区新港町 2 番 1 号
敷地面積	約 23,700 m ²
延床面積	約 32,200 m ²
階数	7 階
収容客数	約 1 万人
構造	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
用途	観覧場、店舗
竣工日	2025 年 3 月 1 日
開業日	2025 年 4 月 4 日
土地所有者	神戸市
建物所有者	NTT 都市開発株式会社
運営会社	株式会社 One Bright KOBE
設計・施工会社	株式会社大林組
コンストラクションマネジメント会社	株式会社山下 PMC

■位置図



本件に関するお問い合わせ先（報道機関）

株式会社 One Bright KOBE
Mail: press@onebrightkobe.co.jp

株式会社 NTT ドコモ
エンターテインメントプラットフォーム部
TEL: 03-5156-3724
Mail:
pr-glionarenakobedcm@ml.nttdocomo.com

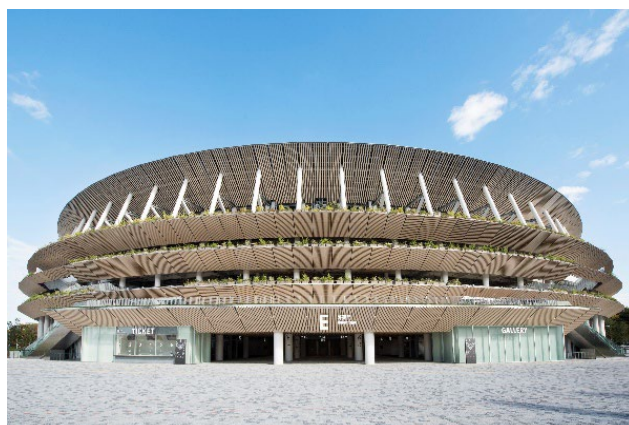
ドコモのベニュー事業について

ドコモは、2019年3月の有明アリーナの運営を皮切りに4つのスタジアム・アリーナの運営に携わっており、スタジアム・アリーナのICT受託に留まらず、運営ビジネスにも参入しています。これまでの従来型の貸館事業ではなく、VIPルームやラウンジを提供するホスピタリティ事業および施設やゲートの命名権の販売を行うスポンサー事業などのグローバル水準の高付加価値サービスや、NTTグループの最先端のテクノロジーなどを活用した新たな観戦・鑑賞体験を提供します。

【ドコモが運営するアリーナについて】

1.「国立競技場」

国立競技場が元来持つ優位性と、国内外の有名アーティストの興行誘致やVIPルーム・プレミアムシートの拡張など、新運営会社ジャパンナショナルスタジアム・エンターテインメントがもたらす新たな価値をかけあわせ、国立競技場を世界トップレベルのナショナルスタジアムとすることをめざします。



2024年5月29日	国立競技場運営事業における優先交渉権者に、NTTドコモ、前田建設工業、SMFL みらいパートナーズ、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）による企業コンソーシアムが選定
2024年9月3日	企業コンソーシアムにより、国立競技場の運営を行う 「株式会社ジャパンナショナルスタジアム・エンターテインメント（以下、JNSE）」を設立
2025年4月1日	JNSEによる国立競技場の運営が開始 同日に実施されたドコモグループ入社式にて、ドコモスタジオ＆ライブ所属アーティストによるミニライブを実施

2.「IG アリーナ」

日本最大級の最大 17,000 人収容可能な、スポーツと音楽ライブイベントの両方に適したハイブリッドエンターテインメントアリーナとして 2025 年 7 月 13 日（日）の大相撲名古屋場所でグランドオープンします。飲食店舗やホスピタリティエリアの充実など海外の観戦・鑑賞スタイルを導入し、Bリーグ所属クラブ「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」のホームアリーナとしての使用も予定しています。



2021 年 2 月 17 日	「愛知県新体育館整備・運営等事業」の事業者に、前田建設工業、NTT ドコモ、Anschutz Sports Holdings、三井住友ファイナンス&リース、東急、中部日本放送、日本政策投資銀行による企業コンソーシアムが選定
2021 年 5 月 13 日	企業コンソーシアムにより、「株式会社愛知国際アリーナ」を設立
2025 年 3 月 10 日	ドコモが IG アリーナのファウンディングパートナーシップ契約締結
2025 年 7 月 13 日	IG アリーナグランドオープン

3.「有明アリーナ」

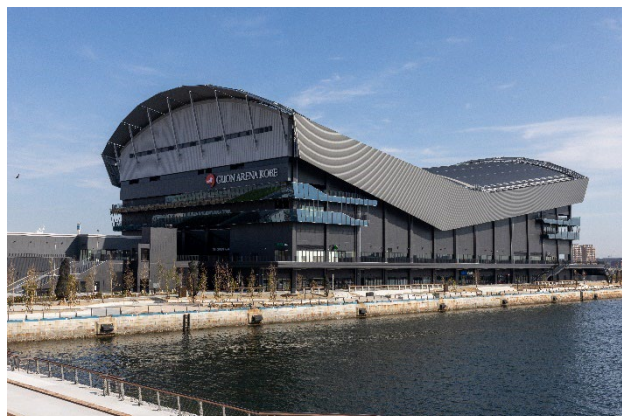
2020 年東京オリンピックおよびパラリンピックの競技会場として、2017 年 4 月 21 日に着工、2019 年 12 月 9 日に竣工しました。土地・建物の所有者は東京都で、2021 年 7 月から 9 月に 2020 オリンピック・パラリンピックの競技会場として使用されました。（バレーボール、車いすバスケの会場）



2019 年 3 月 29 日	「有明アリーナ管理運営事業」の運営権候補者に、電通グループ、NTT ドコモ、日本管財、アミューズ、Live Nation Japan 合同会社、電通ライブ、アシックススポーツファシリティーズによる企業コンソーシアムが選定
2019 年 5 月	ドコモが「有明アリーナ管理運営事業」の運営会社である株式会社東京有明アリーナへ出資
2022 年 8 月 22 日	有明アリーナ再開業 ドコモが「高密度 Wi-Fi サービス」を提供開始

4.「GLION ARENA KOBE」

「ソフト・ハード・デジタル・ソーシャルの 4 つがつながる Smartest Arena」をコンセプトとする、最大 10,000 人収容の多目的アリーナです。アリーナ南側の「TOTTEI PARK（トッテイパーク）」とあわせて神戸のシビックプライドにつながるランドマーク創出をめざします。また、Bリーグ所属クラブ「神戸ストークス」のホームアリーナとしても使用されます。



2021 年 4 月	「神戸アリーナプロジェクト」の優先交渉権を、NTT 都市開発、スマートバリュー、NTT ドコモによる企業コンソーシアムが獲得
2021 年 9 月 16 日	ドコモが「神戸アリーナプロジェクト」の運営会社である株式会社 One Bright KOBE へ出資
2025 年 4 月 4 日	GLION ARENA KOBE 開業 アリーナ店舗内への d ポイント・「d 払い」導入 「TOTTEI KOBE 公式アプリ」への「d アカウント」連携機能実装

*「d 払い」・「d アカウント」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。